

かわねほんちょう 議会だより

第30号

平成25年5月発行

発行/川根本町議会
編集/議会だより
編集委員会



「智者の丘公園」から大井川を望む

も く じ

- | | | | | | |
|------------|-------|-----|------------|-------|------|
| ○予算特別委員会報告 | | 2～3 | ○一般質問 | | 6～11 |
| ○常任委員会報告 | | 4 | ○議会日誌・編集後記 | | 12 |
| ○3月定例会報告 | | 4～5 | | | |

員 会 報 告

3月5日～13日

▶特別委員会では連日熱心に審査が行われました



◆平成25年度予算の主な内容

○デジタル防災行政無線システム共同整備事業	357,921千円
○レールパーク構想検討事業	884千円
○在宅高齢者配食サービス事業	20,503千円
○児童手当支給事業	75,283千円
○私立保育園・幼稚園運営助成	71,845千円
○住宅リフォーム推進事業費補助金	15,000千円
○茶業推進対策費	40,391千円
○林業関係事業費補助金	27,780千円
○町営バス運行事業	37,515千円

3月5日に開会した3月定例会で予算特別委員会が設置され、委員長に中澤智義君、副委員長に中野暉君が選出されました。

本委員会に審査を付託された「平成25年度川根本町予算」は、5日の本会議終了後、財政担当から総括説明を受け、6日から12日まで担当課別の審査を行いました。13日は現地調査後に委員会採決を行い、7つの25年度予算案はいずれも原案通り可決されました。意見、質問、要望等の主な内容を報告します。

一般会計

生涯学習課

カモシカ対策事業について、産業課事業補助金と、文部科学省の補助金の2通りの補助金があるが、食害から造林地を守るという主旨は同じで、2通りの補助金を統一したと説明があった。

建設課

水道工事費4千919万1千円について、昨年

の平栗工事の残り、富士城、向井の工事の事業費であると説明があった。又、新たな事業、町営住宅維持保全調査業務委託420万3千円は、町営住宅の長寿命化計画について、実際の修繕計画を立てるものと説明があった。

生活健康課

住基ネットワーク委託料84万8千円が安くなった理由について、5年間が経過し、1年の再リース料であり、26年度からは新規となるので高額となるとの説明があった。

総務課

庁舎常駐警備費613万8千円の内容について、3年間の委託契約であり、平成27年5月までの契約であるとの説明があった。

庁舎光熱水費67万8千円は、太陽光での売買取引で、決算にて適切に処理していると説明があった。

商工観光課

売れるものづくり支援補助金400万円について、耕作放棄地を利用して蕎麦作りをする計画があり、製粉機購入の補助金で、昨年より増額になったと説明があった。

おもてなしの店づくり補助金1千万円について、町並作りの観点から、最初は3店舗が対象であったが、2店舗でもよしとした。1店舗でも目的に合ったものであれば検討するとの説明があった。

産業課

耕作放棄地再生利用補助金630万円について、対象者は農業者であるが、町の補助金は農業の生産性を上げることが目的としており、農業振興につながるものとの判断があれば、農業者以外にも検討することになるとの説明があった。

福祉課

配食サービス事業

平成
25
年度

予算特別委

委員会審査日

◆川根本町一般会計・特別会計予算

名 称	平成25年度当初予算額 (千円)	平成24年度当初予算額 (千円)	伸 率 (%)
一 般 会 計	5,972,000	5,513,000	8.3
国民健康保険事業特別会計	948,600	932,700	1.7
後期高齢者医療事業特別会計	117,100	118,100	△0.8
介護保険事業特別会計	1,094,800	1,091,900	0.3
簡易水道事業特別会計	294,300	246,000	19.6
温泉事業特別会計	30,600	29,100	5.2
いやしの里診療所事業特別会計	54,600	46,400	17.7
合 計	8,512,000	7,977,200	6.7

1千983万8千円の内容は、旧本川根40名、旧中川根75名を見込み、週4食分年間205食×115人×800円で1千886万円と、事務取扱手数料37万7千200円、配送加算料60万円であると説明があった。

議会費

議会基本条例作成で、人件費、研修費の不足が予想されるが、その時は補正で対応するとの説明があった。

企画課

レールパーク構想について、平成25年に計画、26年に事業実施予定、構想は12名程からなる委員会を立ち上げ、コーディネーターに静岡産業大学田畑教授へ依頼。千頭駅前を中心に、地名から接収までSLを主に事業展開を考えていきたいと説明があった。

教育総務課

学校のあり方協議会について、今後の児童

数の減少を見据え、どのようにしていくか、まず幅広くご意見をお聞きしたい。その上で速やかに様々な方策を考えて決する目的で、協議会を立ち上げたと説明があった。

特別会計

国民健康保険事業

療養給付費の算出根拠について、21年度から23年度の支払い実績を出し、平成24年は10月から推計で過去3カ年の平均給付費を算出し、積み上げたものとの説明があった。

後期高齢者医療

普通徴収と特別徴収者の人数について、普通徴収者は480人、特別徴収者は1千920人であるとの説明があった。

介護保険事業

要介護認定調査委託料の増額理由について、町外者の調査は外部委託を考えているためと

の説明があった。

簡易水道事業

北部水道工事は、老朽化による更新工事であると説明があった。

温泉事業

修繕費262万5千円は、千頭温泉のポンプの汚泥の清掃業務であると説明があった。

いやしの里診療所事業

賃金763万4千円の内訳は、臨時職員3人分と、遠隔診療の先生の283万5千円分（4万5千円×63回分）であると説明があった。



▲現地調査の様子
(もりのいずみコテージ遊歩道)

常任委員会報告

各自自治体の自主性や自立性を高めるための改革推進を図る新たな法律の施行により、これまで国の法律で定められていた介護・福祉サービスの基準や、水道工事に関する技術管理者の資格基準等を各自治体の条例で定めることになった。

当町でも定例会初日に提出された5つの関係議案について、3月14日、担当する常任委員会で審査が行われ、委員会採決の結果、5議案とも全員賛成で可決された。

委員会ごとに内容を抜粋して報告する。

第1常任委員会

(担当…福祉課)

◎川根本町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例

問 今回は町独自の基準は定めず、今まで通りの国の基準で定めるということか。規則は既にできているのか。

答 規則は200条程度で施行期日は4月1日、内容は町ホームページで確認できる。

今後改正の必要が出た場合はパブリックコメント等の意見を踏まえ改正することとなる。今は了承されている。今は了承されている国の基準をそのまま使う。今までのサービスに変更部分はない。

問 従うべき基準で「同居家族に対するサービス提供の禁止」とは。

答 本人以外の同居の方(家族等)にサービスをしてはいけないということである。

◎川根本町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例

前条例と内容等がほぼ同じであり、質疑等は問

は無かった。

委員会採決の結果、2議案とも全員賛成で可決した。

第2常任委員会

(担当…建設課)

◎川根本町が管理する町道の構造の技術的基準等を定める条例

問 今までの基準と変更、追加はなかったということか。

答 これまでの法律基準をそのまま当てはめたもので、町独自の基準を定めたものもない。

問 町条例制定により歩道などの設置が必要になると、町の支出が多くなることがあり得るのか。

答 特に町の負担が多くなるということではない。本条例の制定に当たり現行の基準の中では町の独自性が生まれるというものではないが、危険箇所や狭隘箇所等の整備について

は、これまでと同様、当然町の責務はある。

◎川根本町が管理する準用河川の構造の技術的基準等を定める条例

問 準用河川の表に入っていない河川も多くあると思うが、どういう河川か。

答 河川には国管理の1級河川、県管理の2級河川、町管理の普通

3月定例会報告

平成25年第1回議

会定例会が、3月5日、22日迄開会された。

初日の5日に提出された議案の内、条例制定議案5件は各

常任委員会へ、平成25年度の町予算会計議案7件は予算特別

委員会へ、それぞれ付託され審査が行われた。

最終日の22日、各委員長からの報告の後、採決を行った。

河川があり、普通河川は河川法の適用がない。その他に各市町が管理する準用河川があり、これは比較的重要な河川で、河川法の適用となる。

◎川根本町水道布設工事監督者配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

問 今までも工事監督者の資格のある者を置くこととされていたのか。その現場に常駐している必要があるか。

答 今までも置くこととされていたが、現場に常駐しているというものではない。

委員会採決の結果、3議案とも全員賛成で可決した。

3月5日(初日)の審議結果

補正予算関係

◎平成24年度一般会計補正予算(第7号)

…全員賛成で可決
補正後の総額
60億2千761万円
(1億9千635万8千円の減額)

町内の吊り橋8橋分の点検業務委託料の追加、有害鳥獣捕獲報償金の増額ほか。

◎平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

…全員賛成で可決

補正後の総額

9億6千337万6千円
(68万7千円の増額)

実績見込みによる退職被保険者等療養給付費の増額ほか。

◎平成24年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

…全員賛成で可決
補正後の総額
11億8千546万2千円
(79万円の減額)

実績見込みに基づく福祉介護手当の減額ほか。

◎平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

…全員賛成で可決
補正後の総額
2億4千875万8千円
(749万7千円の減額)

水質検査委託料の実
績見込みによる減額。

◎平成24年度温泉事業
特別会計補正予算(第
2号)
…全員賛成で可決
補正後の総額
2千798万7千円
(377万円の減額)

接叡峡温泉ポンプ改
修工事費の減額。

◎平成24年度いやしの
里診療所事業特別会計
補正予算(第4号)
…全員賛成で可決
補正後の総額
4千207万1千円
(288万円の減額)

いやしの里診療所の
運営経費の実績見込み
による補正。

条例関係・一部改正

◎川根本町特別職の職
員で非常勤のものの報
酬及び費用弁償に関す
る条例の一部改正
…全員賛成で可決
法改正により「体育

指導委員」が「スポー
ツ推進委員」に名称変
更されたため。

◎川根本町集落セン
ター等負担金徴収条例
の一部改正
…全員賛成で可決
地区集会所の維持修
繕事業に、消防用設備
の交換・修繕も補助の
対象とするための改正。

◎川根本町創造と生き
がいの湯条例の一部改正
…全員賛成で可決
町が指定管理団体へ
支払う委託料の支払い
方法を見直し、運営の
改善を図るための改正。

◎川根本町飲料水供給
施設条例の一部改正
…全員賛成で可決
向井飲料水供給施設
の管理運営を向井水道
組合から町に変更する
ための条例改正。

◎川根本町営住宅管理
条例の一部改正
…全員賛成で可決
公営住宅法で定めら
れていた公営住宅整備
基準や入居者資格など
を自治体が規定するこ
ととなったための改正。

◎川根本町障害程度区
分認定審査会の委員の
定数等を定める条例の
一部改正
…全員賛成で可決

◎川根本町障害福祉
サービスセンター条例
の一部改正
…全員賛成で可決

◎川根本町消防団員等
公務災害補償条例の一
部改正
…全員賛成で可決
この3つの条例改正
は、いずれも引用法律
「障害者自立支援法」
の改正に伴う条文の引
用箇所の改正。

その他

◎公の施設の指定管理
者の指定について
…全員賛成で可決
【施設名】川根本町創
造と生きがいの湯
【指定管理者】川根本町
シルバー人材センター
指定期間 28年3月末

◎駿遠学園管理組合規
約の変更について
…全員賛成で可決

◎静岡県市町総合事務
組合を組織する地方公

共同体の数の減少及び
規約の変更について
…全員賛成で可決

3月22日(最終日)の
審議結果

条例関係・新規制定

新規条例として定例
会初日に提出された5
つの条例案は、3月14
日に開催された常任委
員会で審査され、最終
日に委員長から審査報
告があり、(議案名と
報告はP4へ掲載)その
後、採決が行われ、全
て全員賛成で可決され
た。

当初予算関係

初日に提出された平
成25年度川根本町一般
会計及び6つの特別会
計は、予算特別委員会
で審査され、最終日に
委員会報告の後、討
論、採決が行われた。
採決の結果、一般会
計と後期高齢者医療事
業特別会計は賛成多
数、その他の予算案は
全員賛成で可決された。

25年度当初予算案に対する討論

一般会計

反対 鈴木多津枝議員

反対 鈴木多津枝議員

中学卒業までの医療
費無料化や各種ワクチ
ン無料化等数々の前進
はあるが、原発再稼働
反対の意思表示もなく、
低い就学援助や結婚・
出産祝い金・奨学金、
若者の雇用を奪う正職
員の非正規化、恒常的
な救急車不足、医師不
足等、根本的な所で平
和や生命・財産を守る
姿勢に欠ける。

賛成 中田隆幸議員

本年度予算は昨年度
より4億5千900万円増
額。自主防災強化等住
民の安心・安全の強化
の他、昨年は行われな
かった商工会プレミア
ム券補助金や住宅リ
フォーム・林業関係事
業・防霜ファン更新等
の補助金、市場開発等
茶業振興には昨年を上
回る予算。財政規模の
少ない当町で行政の英
知を凝らして予算編成
されたものであり賛成。

賛成 久野孝史議員

当会計は、当町の裁
量の余地は殆どないが、
保険料徴収において資
格証明書等の発行がな
い様な対応をしている
点と、国の現行制度の
中県広域連合からの保
険料負担金を基に、実
績に基づく保険料と基
盤安定負担金の納付を
予算化されたもので、
妥当と認め賛成。

問

○川根高校生徒数減についての対策は
○魅力ある施策は



森 照信 議員

質問 生徒数減に対し、減少により若干の空き部屋が生じている、教職員の入室・退室を精査して前向きに考えていきたい。

質問 教員住宅は利用できるのですか。

教育長 川根高校は、川根地域の唯一の高校であります。川根高校の教育は、地域の保護者、生徒の要望に十分こたえていると思っておりますが、現在の教育の質を維持するため早急に生徒増の対策を図る必要性を強く感じております。

今後、2学級規模の維持目標に1学年40人以上を維持するため連携3中学校からの進学率を高める。連携校以外からの生徒受け入れを考える。生徒の受け入れにかかわる下宿、食事、通学時間これら費用を検討していく中でできた、町教員寮については、教職員の減少により若干の空き部屋が生じている、教職員の入室・退室を精査して前向きに考えていきたい。

質問 教員住宅は利用できるのですか。

教育長 下長尾と千頭にあり、検討していく中で可能だと考えています。

質問 町長はどのような考えているのか伺う。

町長 下長尾・千頭に教員住宅があります。川根高校が現実には生徒数が減っている中で、魅力作りをしながら遠方の地域からも通学できるように状況を模索されている。そのような中で空いている部屋もある。そのような部屋を利用できる方向を考えていきたい。

質問 学校としていろいろな魅力作りをしています。特進学級、野球部・全国総体に常時出場しているカヌー部、地域に貢献している郷土芸能の赤石太鼓・吹奏楽部、そこに連携をして町としても、生徒が川根高校へ行ってみたいと思えるような魅力ある施策を検討・考えているのか伺う。

町長 川根高校にできれば町外からも来ていただける、そういう施策を進めていく上では、例えば父兄の負担の事が出てくると思う、通学費あるいは下宿・寮に入るときの経費が問題になってくる、先ほどの教職員住宅の使用例で行きますと、賄いもついているものから、そういう点で安く入っていただくことが可能ではないか。通学については、通学費に対する支援というものがございませんが、そういうものも考え、町外の人にもそういうものが適用できる、いろいろな方向としてあ



第51回川根高校入学式 (H25.4.5)

るところと思う。この地域にとつて唯一の高校であり、どうしても将来とも残していきたいと思っております。

質問 平成27年度まで一応保証されているが、そろそろ第3次編成も始まると思う。それについてはどうか。

町長 川根高校は地域と一体となった高等学校、中高一貫教育そういうこともございますので期待に沿えるよう前向きに検討していきたい、県の教育委員会等にも機会あるごとにお願いをしております。

答

- 遠距離通学者に教員寮を
- 交通費等の支援を



中澤 莊也 議員

問

○食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応について

○観光振興による地域の活性化について

○「マイスター認定制度」について

質問

食物アレルギー

を持つ児童・生徒に対する対応等について①児童・生徒の実態とその対応策について②児童・生徒の把握と給食献立への活用について③学校・家庭・教育委員会の情報共有や連絡調整について④食物アレルギー教育Ⅱ食育について。

教育長

①対応実施児童・生徒数12名。ア



学校給食共同調理場全景
食物アレルギーを持つ児童・生徒にも対応
安心・安全を第一に

質問

観光振興による

有を図り、事故の発生を未然に防ぐための対策を講じている。④食育としてではなく、他のアレルギー疾患等と同様に、学校保健として対応している。

町長

①川根しぐさ

宿泊ツアーコースを旅行会社提案していく。「音響の郷」の再生も念頭に、大井川鉄道沿線全域をエリアと捉えたレールパーク構想を研究・検討する場を設けたいと考えている。H25年度には、千頭駅周辺における課題の発見、解決すべき事項、構想実現のための具体的な施策など、検討会議を定期的に開催したいと考える。翌年以降レールパークの設計、着手と順を追って進めていきたい。③各地域の方、商工会、農業団体、行政等が協働し、共通な認識を持ち、それぞれの地域に合ったたまり場を考え、創設していくことが重要と考える。④新しい観光資源によるプログラムと新たなガイド、新たなプログラムの提供者を育成していく。

商工観光課長

地域資源と



長尾川に架かる水路橋
貴重な観光資源です

質問

水と森の番人「マ

イスター認定制度」について

町長

総合計画の主要

事業として位置づけて取り組んでいる。マイスターは、森と水の番人に相応しいコンシェルジュのようなイメージの認定をしていきたいと考えている。また、マイスターが知識、技能を高めるための研修の紹介、支援やサポートは町で取り組んでいる。マイスターの案内で、町を訪れる方がますます川根本町のファンになっていただけると思っている。

答

- まず、医師による学校生活管理指導表の提出から
- 地域の人々が地域の魅力、資源に気付くこと
- 森と水の番人にふさわしいコンシェルジュのようなイメージの認定をしていきたい

問

- 林道事業の費用対効果と環境保全
- 市場開発推進事業について経緯を伺う
- 大井川鉄道との共生について伺う
- FM島田とのかかわり、受信について



長塚 誠 議員

質問 林道事業に2億3千万円ぐらいの関連予算が見られます。費用対効果や環境保全面から、今後は里山再生事業といった時代の変化に即応した事業にしていけませんか。

町長 補助金を活用して林道事業を実施するには、国・県の事業審査を受ける必要があります。本町で実施している事業については、一定以上の効果指数が確認されております。

今後も森林施業の効率化を図り、安定した林業経営が図れるよう、環境保全には十分配慮しながら林道網の整備を進めてまいります。

質問 主にお茶の方の販売に結びつけられる支援策に取り組んでいる「市場開発推進事業」について伺います。

町長 茶価が上がれば、川根茶が売れたら、それを成果というのかも。川根温泉ホテルの完成を機に、観光客を奥大井に引き入れるべく、多くの選択肢がある観光地になればと考えているところです。

質問 FM島田コミュニティ放送とのかかわりについて伺います。

島田市との防災、生活情報の共有は必要に思えます。中継局の設置にはアナログテレビ用を再利用して整備できれば、と考えます。

町長 災害時の活用は



原(下泉)地区・田野口間の県道

川鉄道との連携、共生をお願いするものです。

町長 通学や通勤、外出時の公共交通機関として、また、観光交流人口の増加を図るという視点からも、大井川鉄道は地域にとって大きな存在となっていてます。

川根温泉ホテルの完成を機に、観光客を奥大井に引き入れるべく、多くの選択肢がある観光地になればと考えているところです。

近隣地域の皆様に情報をお届けすることでこの地域を訪れる方が増え、地域の活性化につながることを期待しております。

答

- 環境保全に配慮しながら林道の整備を進めていく
- 市場開発支援事業として引き続き継続していく
- 大井川鉄道は生活・観光面で地域にとって重要
- 災害時の活用や地域の活性化につながることを期待



鈴木 多津枝 議員

問

○消費税増税や原発再稼働に反対し
町民の命や暮らしを守る意思表示を
○子育て若者支援、魅力ある町づくりで
少子化・人口減に歯止めを

質問 3月議会での町長の行政報告について。①安倍首相の施政方針演説（アベノミクス経済改革）を評価するの
か、町民の所得を増やし、雇用を拡大する具体的方策は。②税は富む人からもうのが原則。消費税増税は、もう切り詰めるところが無い弱い立場の人程重い負担となり、被災地復興の足かせになる。町民を守る立場から反対の意思表示を。③原発再稼働宣言に反対表明を。④退職職員9人に対し新規2人、非正規11人は、不安定・低賃金化であり、若者の雇用の場を奪い地域の活性化に逆行。正規職員への道や待遇改善を。

町長 ①評価した訳ではないが、金融緩和、財政政策、成長戦略の3本を柱とする安倍首相の発言にいち早く反応した市場の動きに驚いた。②少子高齢化が進み、現役世代の負担が高まる中、世代間の公平が確保された社会保障制度の確立のため、国民全体で広く負担する消費税引き上げはやむを得ない。10%になれば国約63%は全て福祉、医療、教育、公的年金、少子化対策の財源となり、地方約37%も1%は現在も自由に使える財源で、増える約2.7%は社会保障財源に限定される。国保や介護保険など町民負担の軽減にも繋がると期待している。所得税、法人税が重いと企業や富裕層が海外へ移住し空洞化が進む。低所得者対策は国も考えている。③浜岡原発再稼働は、科学的根拠に基づく安全対策がなされた上で地元・近隣住民の同意を得れば再稼働もあり得る。津波対策や



浜岡原発（川根本町から60km）

設計基準を超える事故対策を実施中で、新たな安全基準により耐震安全性の対応も検討される予定。関係市町長と意見交換しながら必要対応をしていく。④定員適正化計画に基づき民間委託の推進や採用を年一人に抑えてきたが退職者が予想以上に多く、計画より減少した。今後は権限移譲による業務の増加も予測され、行政サービスの向上に努めるため、今回のような急激な人員減には再任用で対応したい。

質問 少子化・人口減少に歯止めをかけるため、住宅・雇用対策や宮崎県綾町のように有機・無農薬栽培や農林業と観光を繋げた6次産業支援、地産地消、循環型町づくりで若者や退職者を呼び込む魅力ある町づくりを。

町長 当町はすでに魅力ある町と捉えられ、空き家バンクへの問い合わせも増えている。お試し・体験的な家屋や畑の提供、安定した職場情報などが移住の決断には必要。高齢者支援・子育て支援、地場産業・文化など地域資源を掘り起こし、この町に住んで良かったと自慢できる町にしていきたい。人情味溢れる住民のおもてなし・交流活動、助け合い、支え合いを大切にする。ことが町の魅力と思う。

○消費税増税はやむを得ない

原発再稼働は地元が同意ならあり得る

○人情味溢れる住民のおもてなし・交流活動、

助け合い、支え合いが町の魅力

答

問

- 青部バイパスの進捗状況について
- 早期完成に向けて町民の署名運動等は
- リニア新幹線に町はどのように考えるか



芹澤 廣行 議員



青部バイパス工事箇所 位置図

質問 青部バイパスの国・県の関係部署の町民に対する説明会をいつ開催するか。

町長 平成24年度中に開催したいと考え、土木事務所と日程調整を行ってきたが、年度末を控え遅れている。

建設課長 25年6月頃には何とか開催できるように調整している。

質問 バイパス用地の5%未収得は、現在どのようになっているのか。

町長 5%部分については、相続移転が済ん

でいない土地のため、事業主体の県土木事務所も取得していない状況である。

質問 青部バイパスの早期完成を目指して、区長会等に働きかけて署名活動を起こす考えはあるか。

町長 青部バイパス建設については、現在軌道に乗って来た状況にあるという認識を持っており、署名運動を起こすということは、特に考えていない。しかし、要望活動について

は、今以上に行なっていく。

現在、下沢間地区でバイパス本線と県道川根寸又峽線とを接続する取り合い道路の一部と本線工事の一部を

実施しており、それに加えて国の3月補正で新たに1億2千万円の追加補正があり、現在、土木事務所川根支所で3月中の発注事務を進めている。

25年度は大鉄青部駅付近での工事着手する予定であり、工事の進捗状況が今まで以上に確認できると考えている。

質問 JR東海が計画している、リニア新幹線のトンネル工事に伴う掘削土の処理について、川根本町との関係について、現在どのような情報を得ているか。

町長 全国新幹線鉄道整備法に基づき、平成23年5月に国土交通大

臣がJR東海に対して建設指示を発令、建設事業主体はJR東海で、整備費用は全額JR東海が負担する。

計画では東京、名古屋間を27年、大阪までは45年開業予定。静岡県区間は全てトンネルで通過するが、トンネル工事用の斜坑を設置する計画であるが、斜坑出入り口や工事施工ヤードの位置等の具体的な計画は公表されていない。

詳細な路線や附帯施設の位置、規模等明らかにされていない状況の中、本町にどういった影響が生じてくるかといった問題は、現時点では申し上げるものではない。

また、工事用の作業用トンネルの位置、工事に伴う廃土処理の方法についても、現時点で回答できる情報は持っていない。

答

- 国、県のバイパス説明会を6月に行なう
- 署名運動等を起こすことは今考えていない
- トンネル工事に必要となる斜坑の

具体的な計画は、今は公表されていない



中田 隆幸 議員

問

○朽ちるインフラ整備と 公共マネジメントについて ○グラウンドゴルフによる誘客について

質問 昨年12月に起きた笹子トンネル天井崩落事故、浜松天竜区での橋梁架線破断事故等朽ちるインフラ整備をどのように考えるか。

町長 公共施設の長寿命化につきましては、旧耐震基準の12箇所の集会所を耐震補強と老朽化対策を致しました。又、本年度は奥大井自然休養村管理センターの耐震工事等実施設計を行い来年度耐震補強工事を行います。山村開発センター、健康増進施設の耐震診断も行います。町道に架かる橋梁30橋は点検を行い長寿命化の計画を策定してまいりました。国等の交付金を活用して優先順位の高い橋から順次修繕をしてまいります。千頭隧道は昭和28年と古く来年度詳細な点検を行います。林道の橋、又トンネルも町道同様に修繕計画

を策定して実施していきたい。なお町営住宅は23年度に長寿命化計画を策定して来年度全団地の詳細設計をして修繕工事を行って行きます。

質問 全国の自治体で公共マネジメントを行政運営に取入れる所が多い中、最近では静岡県・焼津市・三島市が行っているが当町ではどの様に考えるか。

町長 公共施設の安全・安心の観点から施設の今後の管理の在り方としての新しい方向を勉強していくことも必要と感じております。議員の皆様が議会を挙げて講演会等を行うと



天竜区橋梁事故

いう要望があれば検討をさせて頂きたいと思えます。

質問 全国のグラウンドゴルフ人口は300万、400万人居ると言われております。その内登録競技人口は20万人居ます。この人達は年4回発行される雑誌を見ておりますのでこの雑誌にPR文を掲載できないか。

商工観光課長 前向きなご提案ですけれどもただグラウンドを貸すだけではなく、色々なコース等や接待などで好評を得る様な提供が出来る様になればその様な事を考えて行きたいと



グラウンドゴルフ風景

考えております。

質問 昨年度の4ヶ所での誘客が千人単位になったと聞いております。今年度は新たに3ヶ所の施設が加わりました。これによる誘客数は増える事が考えられます。又日帰りの方への昼食プランも出てきておりますのでパンフレット作成の支援等を考えて頂けないか。

町長 今年度は7ヶ所のゴルフ場と12軒の飲食店と14軒の宿泊施設で日帰りプランと宿泊プランを行っていきます。グラウンドゴルフ場が地域の資源として有効利用され施設の管理団体と利用者との交流も生まれているこの取組に対して、観光キャラバンやエージェンツ招聘など様々な機会をとらえPRすることと更なる誘客を図りたいと考えております。

答

- 町施設の長寿命化は今後考えていき、後援会等も考えていきたい
- 今後様々な機会を図り誘客を考えたい

議 会 日 誌

1 月

- 6 日 平成25年川根本町消防団出初式
- 13日 平成25年川根本町成人式
- 21日 第8回議会基本条例検討特別委員会
- 28日 県地方議会議長連絡協議会第3回研修会



基本条例素案作成も大詰め（1/21）



小学校5年生の県外体験学習発表（2/24）

2 月

- 5 日 第9回議会基本条例検討特別委員会
- 13日 第10回議会基本条例検討特別委員会
- 21日 議会委基本条例に関する行政との意見交換会
- 24日 生涯学習のつどい



祝辞を述べる板谷町議会議長（3/20）

3 月

- 5 日～22日 平成25年第1回定例会（3月定例会）
- 5 日～13日 予算特別委員会
- 14日 第1・第2常任委員会、議会運営委員会
- 20日 第8回川根本町茶業者大会

◆6月定例会の日程◆

13日	木	議会運営委員会（9：00～）
17日	月	全員協議会（9：00～）
20日	木	6月定例会・本会議（9：00～）
27日	木	6月定例会・本会議（9：00～）

- 会場は全て川根本町役場本庁・3階です。
- 本会議、委員会は原則どなたでも傍聴できます。
- 日程は変更することもありますので、詳しくは議会事務局（☎56-2229）までお問い合わせください。

編集後記

小中学校の入学式で
新入生の緊張した初々
しい姿を目の当たりに
した時、気の引き締め
る思いが込み上げてき
ました。

平成25年度の予算も
決まり、4月から新年
度が始まりました。私
達議員も気を引き締め
て活動して行くことを
再確認いたしました。

（M・T）

編集委員

（第二常任委員会）

委員長 中野 暉
副委員長 高畑 雅一
委員 中田 隆幸
中村 優
芹澤 廣行
中澤 莊也



長島ダムの芝桜